

週末ビギナークラブ活動報告書

第3回「ファイヤークラフト 火おこしチャレンジと焼き板づくり」 2020年12月20日(日)

ノコギリ、マッチ、火を育てる…チャレンジ盛りだくさん！

2か月ぶりの再会に、緊張した様子の子どもたちもいた第3回。そんな中、全体的にしっかりした雰囲気が出ていました。話を聞く様子、やる時はやるといったメリハリの姿勢。これが成長というのでしょうか。

今回は、やることを伝えたら、あとは時間までに自分たちで段取りをしてごらん、という形で活動開始となりました。



今日の目的は、ノコギリを使って杉板を切る作業、マッチを使って火をおこし、維持させて、切った板を焼く作業、それを磨いて、デザインして、焼き板プレートを完成させることです。作業内容としては、それなりにリスクも伴うものが多く、真剣勝負の時間が長くありました。



マッチでの着火は、比較的スムーズにできた様子。しかし、薪が湿っていたり、風が強かったせいもあって、火の維持がなかなか難しい状況でした。それでも何とか火を育て、じっくり杉板を焼いていきました。

オリジナルプレートの完成！

少し遅い昼食となりましたが、子どもたちの集中力は途切れませんでした。焼き板が冷めたのを確認し、新聞紙や古布を使って板を磨き上げていきます。磨いた分だけ、木目がきれいに浮き上がり、つやつやになります。そこには、自分の好きなデザインを施す。これが醍醐味です。



それぞれの思いがこもった焼き板プレートは、本当に素敵なものばかり。プレートを縦に使うデザインがあったり、シンプルズベスト、ということで日付だけのものがあったり。個性爆発でした。



【担当者より】

あっという間の折り返しとなった週末ビギナークラブ。子どもたちがやっとなり慣れてきて、少しずつ自分を出せる様子が見えてきました。同時に班の仲間のことや、遊び相手としてだけではなく、得意なことや経験のあることを教えてくれる子がいたり、場を盛り上げてくれる子がいたり。男女分け隔てなく関わられる週末ビギナークラブの子どもたちはとても頼もしいです。次回は最終回。今回の火おこしスキルを使ったプログラムを実施。そして修了式。有終の美に向けて、整えてまいります。

川崎市青少年の家
指定管理者：川崎フィールズパートナーズ（坂口）